

環境の都ニュース

2020.10.1 NO.105

“環境の都”を
めざして

発行

長岡京市環境の都づくり会議

責任者：江川 宗治

編集者：安楽 裕子

「2050年実質ゼロ」に向けて

移動と物流と地産地消

京都府地球温暖化防止活動推進センター 浅井 薫

今年の2月、京都府知事が「京都府は2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す」と宣言されました。これまでも京都の各地で様々な活動が展開されてきましたが、これからはさらに省エネ&再エネの普及が必要になります。

そんな中、新型コロナウイルスの感染拡大と外出自粛要請があり、私も4～6月の約3か月弱の間、連続して在宅勤務を経験しました。一日中ほとんどの時間を家で過ごしながら、メールやウェブ会議を使つての仕事。家族全員が毎日体温を測り、以前よりもきっちり手洗いをするなど、習慣の変化もありました。

コロナの影響で自分の中の価値観も少し変わったように感じます。特に「移動」については、コミュニケーションの手段があれば直接相手と会わなくても物事が進んで行くことを経験しました。本当に移動が必要な場合、予想以上に少ないのかもしれませんが（直接会う喜びについても改めて実感！）。移動の必要/不要をきちんと判断することは、無駄な移動のエネルギーを減らすことにも繋がる。コロナの影響で困難や変わらざるを得ないことが色々ありますが、逆に、その「変化」が温暖化対策を進めるチャンスになりそうです。

一方で、アフターコロナの話題になった時に「人の移動が大きく減っていくと、ローカルの公共交通は乗客が少なくなりサービスの維持をしていくのも大変になるかもしれない」という話を聞きました。今以上に公共交通の適切な利用と維持に注目が必要になるかもしれません。

そういえば、人の移動は減ったかもしれませんが、コロナの影響でインターネット通販やUber Eatsなどの宅配サービスの需要が増えているということも聞きます。人の移動と物の物流について、大きく社会システムが変わっていくのかもしれませんが、そこで地産地消中心のシステムに変えていけるのなら、脱炭素型のステキな京都にまた一歩近づくのでは。そんな風に考えています。



令和2年2月11日開催の第11回「KYOTO 地球環境の殿堂」表彰式（於：国立京都国際会館）において、西脇知事が挨拶で「2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロ」を目指すことを宣言しました。



京都府ホームページ

2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ宣言

京都府温暖化防止センターの公用車（自転車）。
天気と荷物と体調の都合が合えば、これで移動しています。

新型コロナウイルス渦で社会、経済活動の自粛が続いて半年を過ぎました。残念ながら専用ワクチンや特效薬が出来るまではまだ暫く活動の自粛が続くことでしょう。しかし、縮こまるばかりの生活が続くと心身ともに萎えてしまいます。こんな時こそ感染リスクが比較的低い屋外（自然）で体を動かすことが大切ではないでしょうか？

私たちはこれまですくすく教室として荀掘り、川遊び、炭焼き体験などを通年開催していますが、今年はこれまでのところ教育委員会の要請もあり、すべての行事を中止しましたが、状況も少し落ち着きを取り戻しつつありますので、11月以降は、竹林での炭焼き体験を開講する予定です。三密や消毒対策をとって運営いたしますので、是非、ご参加頂きますようご案内いたします。開催予定日は以下の通りです。

PJTリーダー 神山 忠



- 開催日時 11/14、12/12、1/16、2/20（いずれも土曜日）
- 開催時間 10:00～12:00 頃
- 開催場所 光明寺北側竹林（通称、河合竹林）
- 活動内容 竹炭焼き体験、竹切り体験、弓矢遊び、竹の勉強、その他

やっと開催出来ました

PJTリーダー 西村日出男

(司会)

西村日出男（こここCOライブ）
（趣旨説明）「みんな楽しく共生」

(話題提供者) (敬称略)

中山 秀彦（長岡京市市民活動サポートセンター）

「市民活動の視点からみたSDGs」

長澤 拓巳（長岡京市環境政策室）

「地方自治体とSDGsとの関わり方」

永田 健一（京都府乙訓教育局）

「学校教育におけるSDGs」

古澤登美代（乙訓の自然を守る会、ちょこボラ）

「自然への興味関心を磨きます機会をつくる」

江川 宗治（長岡京市環境の都づくり会議）

「どうする？ SDGs！」

コロナ禍で2度延期された「長岡京市 SDGs 交流会」を9月3日にやっと開催出来ました。厳しい制約の中でしたが、定員丁度の20名の参加でした。

5名の発表者に10分ずつの発表をしていただき、早速意見交換をしました。

「SDGsの知名度がまだまだ低い」「何をしたらよいかわからない」など、戸惑いの意見もあり、「教科書にSDGsが取り上げられていることを知った」「大学でも何かできないかを模索するきっかけになった」などの意見もありましたが、会場の都合でゆっくりとした交流が出来なかつたのが残念でした。

今回を第1回として2030年まで毎年開催していく予定ですが、解説を中心とした「講演」ではなく、種々の団体や個人が取り組んでいる活動がSDGsとどのように関わっているかの「交流」を主眼として開催していこうと計画しています。

ホームページも近々開設予定です。



Good health and well-being

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する



3.3 2030年までに、エイズ、結核、マラリア及び避けられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水糸感染症及びその他の感染症に対処する。
COVID-19



迷子のウリ坊と対面

PJTサブリーダー 渡辺節郎

6月の下旬、光明寺に近い五十樓竹林で竹林整備をしていたら猪の子供「ウリ坊」が迷い込んで来た。「可愛い」と、おもわず声をだしあわててスマホで写真を撮りました。近くにいた仲間にも声掛けして捕まえようとしたが草むらに逃げられました。

名前は聞いていたが実物を見るのは初めてで興奮した。でもこんな人家が点在する竹藪に、しかも昼間に猪がくるとはお驚きで如何にエサが無いのかと考えさせられます。

私達はボランティアで17年前から西山の放置竹林9ヶ所の整備に汗を流してきました。しかしここ数年猪の被害に泣いています。収穫前の筍を根こそぎ食われ呆然とする時もあります。8月にも奥海印寺の農園でさつまい芋畑を荒らされる被害が2回ありました。

竹藪も畑も対策として柵もしましたが柵の下を掘られ侵入されたり低い柵を飛びこえられたり手に負えない状態です。しかし猪も生きて行くために必死です。ウリ坊を可愛いと言ってられません。成長すれば天敵の猪です。今後猪とどう戦って行くかですが、

いたちごっこでは解決できません。西山の生態系を守り自然と人間が共存できる環境づくり行政等関係者が危機意識を持って対応して行く必要性を強く感じます。



私たちが電気やガス、水道を使うとき、多くの二酸化炭素(CO2)を出しています。この二酸化炭素が地球の温暖化を進め、多くの災害の原因になっていると言われています。私たちや、将来、子供や孫が受ける災害を少しでも少なくするために、日常生活の中で、すぐに出来る省エネの工夫やヒントを紹介します。第2回目は、照明、掃除機、テレビの「かしこい使い方」です。少し気を付けるだけで節電効果がよくあらわれます。

「次の世代を担う、子供や孫のために楽しく節電しましょう」

資料提供 京(みやこ)エコロジーセンターエコサポーター 天野光雄様

テレビのかしこい使い方

- ① 見ていないテレビは、こまめに消しましょう。
- ② 画面の明るさを調整、あるいは省エネ設定にしましょう。
- ③ 夜間や留守の時は、主電源まで切りましょう。

照明のかしこい使い方

- ① ムダな明かりは、こまめに消しましょう。
- ② リモコン機能を使用中は、約1Wの電力を消費しています。壁スイッチでオンオフするなど待機消費電力を削減しましょう。
- ③ 照明器具(特にキッチン)はこまめに掃除しましょう。
- ④ 階段やトイレ、街灯にはセンサーライト(明るさ感知、人を感知)がおすすめです。

掃除機のかしこい使い方

- ① 掃除を始める前に部屋の整理整頓をしましょう。
 - ② 掃除機は吸い込み口を、遠くから手前にゆっくり引くように。
 - ③ じゅうたんは「強」フローリングや畳は「弱」とパワーを使い分けましょう。
- (時間当たりの消費電力は「強」907W、「普通」では441Wで、約2倍の違いがあります)

花を咲かそう
PJT

京都府立向日が丘支援学校生徒が水やりお手伝い

PJTサブリーダー 奥西弘武



今年は自前の花苗を販売する計画をしていて、秋菊と野生種フジバカマを挿し木して栽培していました。販売の場をあてにしている行事が軒並み中止になったため、販売を断念しそのまま花壇の仲間にする事にしました。コロナと天候異常のせいで、花壇の整備計画が立たないままになっていたところへ支援学校から体育館2F庭園の水やりの申し入れがありました。早速、体育館/



▲調査に来られた支援学校の先生

支援学校/PJTで協議覚書を作成し9月17日13時から実施しました。環境の都として支援学校を何度か手伝っているうちに担当の先生から提案されたのです。木曜の散歩の時にジョコ持参で来るのです。絆がまた一つ増えました。



▲順調に育っている菊とフジバカマ

里山再生
PJT

水鉄砲づくり



PJTリーダー 加藤克巳

今年も打ち水(アゼリアエコクール大作戦、8月4日)で水鉄砲を使っていたきました。【写真1】今年のように30丁調整(保育所にも配布)するのはなかなか大変です。作り方を紹介します。筒の部分は真竹(色が鮮やかで、節間が長い)、柄の部分は黒竹(黒色で色の対比が良い)にしています。柄の先に住宅用品の隙間テープを適量巻き付け、ハンカチを四つ切にしたもので包み、すそを輪ゴムでくくります。



隙間テープの量は微調整(ハサミで)します。穴はキリであけます。強力ですごくまで飛びます。サンドペーパーなどでかどや出っ張りを平らにします。【写真2】黒竹を提供していただける方を探しています。ご連絡ください。



◀竹ひしゃくは竹林再生PJTで作成しています。

土木・舗装工事一式

(有)達城土木

〒617-0836 長岡京市勝竜寺巡り20-7
TEL.075-957-0610
FAX.075-957-0177

一般電気工事全般

山城電気

〒615-8001京都市西京区桂上野北町87
TEL.080-5313-4146

“小水力発電機2号機設置計画”発表。

長岡京市は、小水力発電機を水道管に設置する協定を民間事業者 DK-Power（大阪府吹田市）と結んだ。

再生可能エネルギーの活用と温室効果ガスの削減を目的とした事業で、市が設置場所、同社が発電機をそれぞれ提供し、売電で得た収益は市と事業者で分け合う方式で2例目となる。1号機は、北ポンプ場（井ノ内）に設置され、2018年4月から稼働しており、19年度は171MW時を発電して市は約40万円の利益を得た。

今回の2号機計画は、発電機を東配水池（天神2丁目）に設置し、約24m高い場所にある乙訓浄水場からの送水力を利用して年間発電量は100MW時を見込み、稼働開始は本年度内を予定している。

（京都新聞8月26日朝刊掲載記事より）



世界の環境ニュース

北半球 史上最も暑い夏！



世界気象機関（WMO）は15日、米海洋大気局（NOAA）の調査結果として、北半球の今年の夏（6~8月）が、平均気温を1.17度上回り、観測史上最も暑い夏になったと発表した。これまでは2016、19両年が最も暑い北半球の夏だった。8月に限定しても、北半球では平均気温を1.19度上回り、観測史上最も高温。

世界全体では平均を0.94度上回り、16年に次ぎ2番目に暑い8月になった。8月の世界の平均気温は、1977年以降、平均を上回る状態が続いている。世界全体の今年1~8月の平均気温は、20世紀平均を1.03度上回り、16年に次いで2番目に高くなっている。

（京都新聞9月16日朝刊掲載記事より抜粋）



ミヤコちゃんのエコまねが 作：船越 聡

2020年環境年間行事日程 直近版(10月~12月)

	共通、広報	里山再生・西山F環境探検隊	ビオトープ	竹林再生	花を咲かそう	エコ(地球温暖化防止等)こここCOライブ、等
10	環都ニュース発行(10/1) 環都月例会議(10/13) 第12回長岡京市環境フェア(10/31)	森林ボランティア(10/4) 西山F環境探検隊-3中止 森林ボランティア(10/18)	竹炭焼き(10/8,22) 花にしき親睦会(10/9)	竹林整備体験会(10/4,18) 定例竹林整備(10/12,26) 3PJT 合同例会(10/18)	花壇整備(10/26)	SDGs 記事掲載
11	向日が丘支援学校フェスタ(11/) 環都月例会議(11/10)	森林ボランティア(11/1) 森林ボランティア(11/15) Xマスリース教室(11/21)	すくすく竹炭焼き体験(11/14) 竹炭焼き(第2、4木曜)	竹林再生活動(11/9,23,30) 竹林整備体験会(11/1,15) 3PJT 合同例会(11/20)	花壇整備(11/30) 体育館花植え(11/8)	
12	京都環境フェスティバル(12/) 環都月例会議(12/8)	森林ボランティア(12/6) 森林ボランティア(12/20)	竹炭焼き(第2、4木曜) すくすく竹炭焼き体験(12/12)	竹林再生活動(12/14) 竹林整備体験会(12/6,20) 3PJT 合同例会 & 忘年会(12/21)	正月飾り作り(12/14~18)	

あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。問合せは江川まで。Tel.075-957-6169 E-mail egawam@kyoto.zaq.ne.jp

「長岡京市環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。一口年間1,000円(一口以上)

事務所：多世代交流ふれあいセンター内
〒617-0812 長岡京市長法寺谷山13-1

ホームページもご覧下さい。各PJTの活動内容と写真などがあります。

都づくり会議 検索



編集後記

今年の夏は“世界の環境ニュース”にもあるように、日本だけでなく『北半球で史上最も暑い夏』だったそうで、マスク着用もあり、大変でしたね！そんな環境下の活動ですが、今号も会員一同の思いや活動の一端を皆さんに届けられればと願って作成しています。